



#### 何をした？

- 法務省が主唱する“社会を明るくする運動”（広報・啓発活動）への協力
- 法務省や地方公共団体と連携した更生保護に関するシンポジウムの開催

#### 最初のきっかけは？

サウンディング調査で美祢社会復帰促進センター（PFI手法により運営される刑務所）を訪れた際に、再犯防止の取組や更生保護の活動を知ったこと。

#### 取組開始の理由は？

「[知りたい、学びたい]と願う全ての人のために、まなびのつながりを育む」というブランド方針が、犯罪をした人たちの立ち直りを支える更生保護分野で貢献できる可能性があると感じたため。

#### どんな風に？

2024年度に法務省保護局との連携協定を締結し、CSR（社会貢献活動）として実施。



#### 丸善雄松堂から企業の皆さまへ

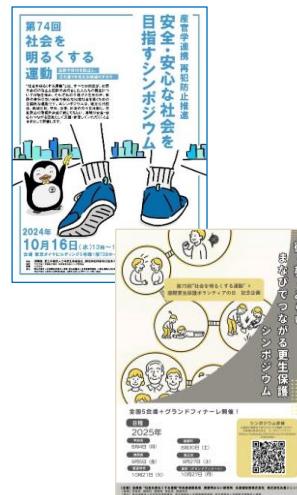
本活動を通じて、多様な視点や価値観に触れ、多くの学びと気づきを得ました。また、異なる立場の方々との関わりの中で育まれたつながりが、社会と企業双方に価値をもたらすものと考えています。今後、さらなる企業の参画により、学びの輪が広がり、次の一步へとつながっていくことを願っています。

#### “社会を明るくする運動”への協力



- 7月の“社会を明るくする運動”強調月間、「再犯防止啓発月間」の1か月間、全国の書店にポスターを掲示。一部店舗では企画棚を作成するなど、お客様に、更生保護について周知。
- 書店員は、胸元や職員証に「幸福（しあわせ）の黄色い羽根」を付けて接客を実施。
- 2025年には、「社会を明るくする運動」作文コンテストで特別賞（丸善まなびのつながり賞）を創設し、小中学生への啓発にも参画。

#### 更生保護に関するシンポジウムの開催



- 2024年は、産官学連携の再犯防止シンポジウムを開催。
- 2025年は、全国各地（山梨県甲府市、福島県楢葉町、静岡県（台風のため中止）、北海道帯広市、香川県善通寺市、東京都千代田区）で、シンポジウムを開催。グランドフィナーレ（東京）の様子はYouTubeでも配信し、より幅広い層への周知・広報も。

